

建設業の業況

1. まえがき

建設投資の低迷、建設市場の大きな構造変化の中で、建設業は厳しい環境化にある。そのような中で建設業の業況について直近のデータを混じえ、その内容について紹介する。

2. 建設投資の推移

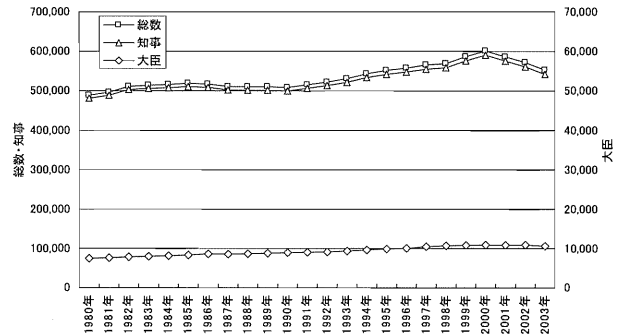
2002年度の名目建設投資は56兆5,200億円と16年ぶりに60兆円を割込む結果となった。また、2003年度も引続き減少基調が続き53兆9,900億円となる見込みである(図一)。

3. 全国許可業者数の推移

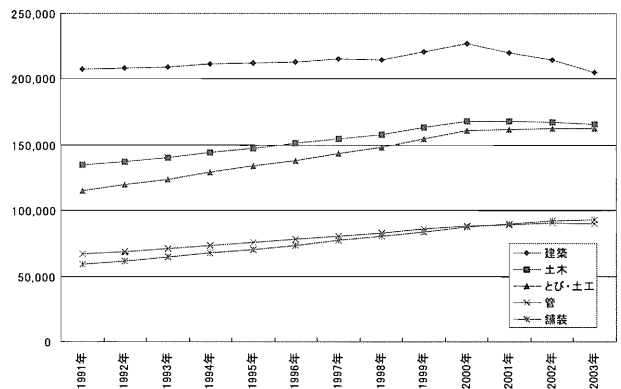
建設業法に基づく全国許可業者数を集計した結果、2003年3月末現在で国土交通大臣許可業者が10,630業者(対前年同月比2.6%減)、都道府県知事許可業者が541,580業者(対前年同月比3.4%減)、総数で552,210業者(対前年同月比3.4%減)となり、厳しい経済状況を反映して3年連続の減少となった(図二)。

4. 業種別許可業者数の推移

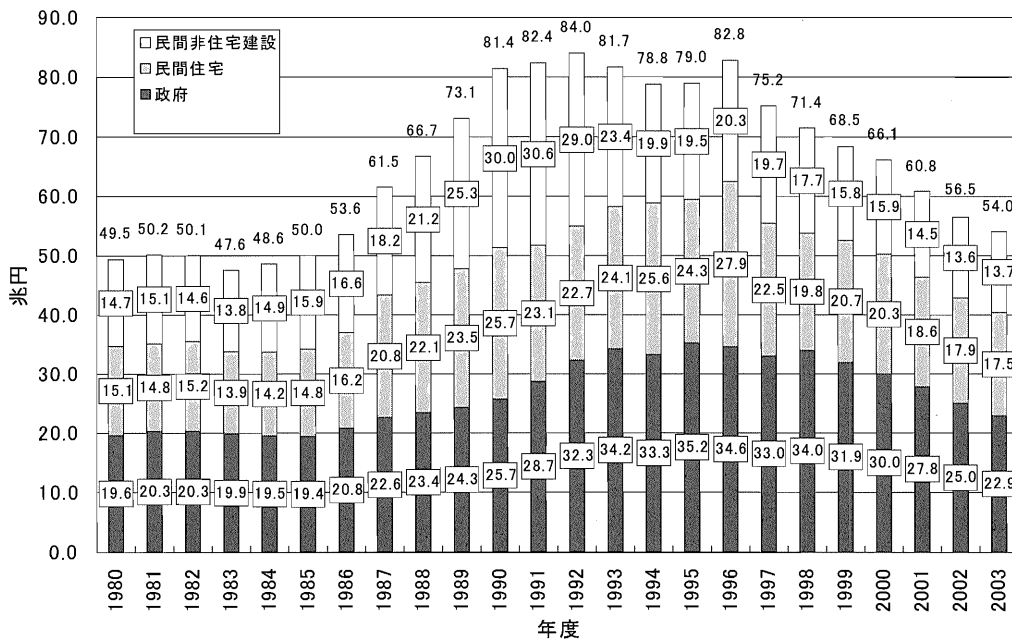
各業種別許可の総数は1,410,069業者(対前年同月比0.1%減)で8年振りの減少となった。また、業種別許可業者数で28業種中



図二 年度別許可業者数推移 (資料出所: 国土交通省)



図三 業種別許可業者数の推移 (資料出所: 国土交通省)



図一 年度別建設投資推移 (資料出所: 国土交通省)

統計

の上位5業種は例年通り建築、土木、とび・土工、舗装、管の順となり、建築、土木、とび・土工、管工事業は各々4.1%、1.3%、0.1%、0.2%と減少しているが、舗装工事業のみ1.1%の増となった。特に建築は2000年に比べ21,359社減少している(図-3)。

5. 死傷者及び死亡者数の推移

死傷者数及び死亡者数共に全産業、建設業において2002年同月集計に続き減少している。また、2002年の建設業における死亡災害の発生状況で割合の大きいものは、墜落が39.4%で最大であり、次いで建設機械等が15.2%、自動車等が13.0%であった(図-4)。

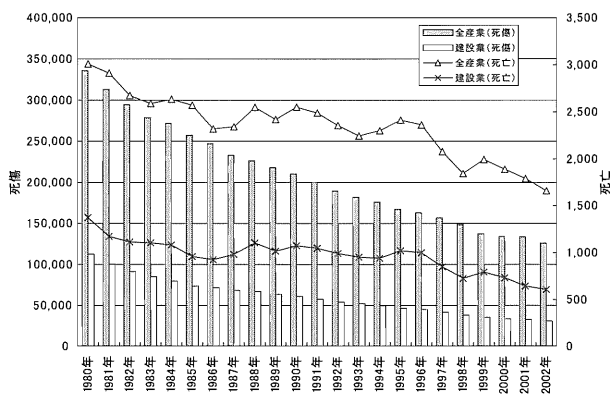


図-4 年度別死傷者及び死亡者数の推移
(資料出所：建設業労働災害防止協会)

6. 産業別倒産件数の推移

2002年の全国企業倒産件数(負債総額1,000万以上)は19,087件となったが、この中で建設業は前年比2.89%の減であるものの産業別分類最大の5,976件(構成比31.3%)と3割以上を占めた(図-5)。

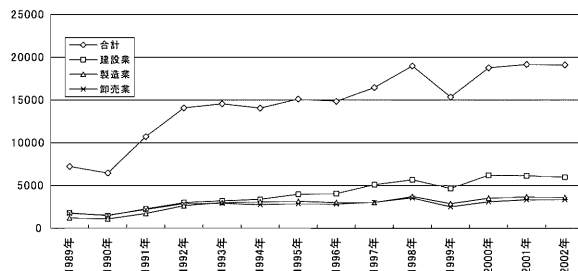


図-5 年度別産業別倒産件数推移(資料出所：東京商工リサーチ)

7. 産業別・男女別就業者数の推移

就業者総数では6,330万人と、前年に比べ82万人の減少し、5年連続の減少となった。また、建設業も同様に618万人(産業別構成比9.7%)と前年比で14万人の減少となった。2002年の建設業男女別就業者数は男子526万人、女子92万人となり、共に前年に比べ各々1.9%および4.2%減少している(図-6)。

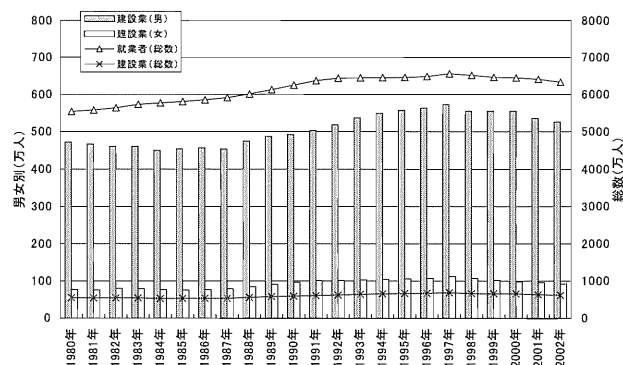
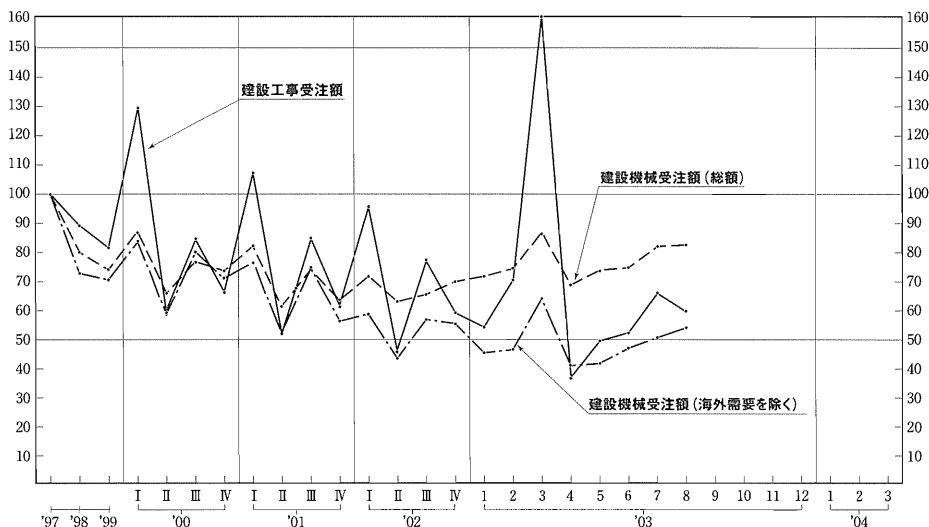


図-6 年度別産業別・男女別就業者数推移(資料出所：総務省)

建設工事受注額・建設機械受注額の推移

建設工事受注額：建設工事受注動態統計調査（大手50社）（指数基準 1997年平均=100）
 建設機械受注額：機械受注統計調査（建設機械企業数26前後）（指数基準 1997年平均=100）



建設工事受注動態統計調査（大手50社）

（単位：億円）

年 月	総 計	受 注 者 別						工 事 種 類 別		未 消 化 工 事 高	施 工 高
		民 間			官 公 庁	そ の 他	海 外	建 築	土 木		
		計	製 造 業	非 製 造 業							
1997年	188,683	116,190	21,956	94,234	55,485	5,175	11,833	122,737	65,946	204,028	201,180
1998年	167,747	103,361	16,700	86,662	51,132	4,719	8,535	106,206	61,541	193,823	183,759
1999年	155,242	96,192	12,637	83,555	50,169	4,631	4,250	97,073	58,169	186,191	164,564
2000年	159,439	101,397	17,588	83,808	45,494	6,188	6,360	104,913	54,526	180,331	160,536
2001年	143,383	90,656	15,363	75,293	39,133	6,441	7,153	93,605	49,778	162,832	160,904
2002年	129,862	80,979	11,010	69,970	36,773	5,468	6,641	86,797	43,064	146,863	145,881
2002年8月	9,287	5,649	711	4,938	2,849	390	398	6,352	2,935	153,023	11,125
9月	16,369	10,898	1,656	9,242	4,139	459	872	11,404	4,964	154,141	15,013
10月	8,928	5,458	767	4,691	4,610	350	509	5,920	3,007	152,516	10,264
11月	8,759	5,544	825	4,719	2,460	415	339	6,066	2,693	149,752	11,470
12月	9,960	6,067	864	5,203	3,244	468	181	6,796	3,164	146,863	12,586
2003年1月	7,602	4,941	917	4,024	2,019	339	303	5,249	2,353	143,731	9,895
2月	9,385	6,033	946	5,087	2,661	449	241	6,208	3,177	141,894	11,428
3月	23,200	14,789	1,957	12,831	6,624	658	1,128	15,130	8,070	141,426	19,139
4月	6,720	4,604	730	3,874	1,206	382	527	4,405	2,315	140,202	8,583
5月	7,330	5,352	1,144	4,209	1,212	377	389	5,138	2,192	138,597	8,973
6月	9,250	6,208	655	5,553	2,251	422	369	6,387	2,863	139,002	9,071
7月	9,039	6,001	882	5,119	2,178	379	481	6,209	2,830	137,348	10,548
8月	9,127	5,913	730	5,183	2,495	385	334	6,566	2,571	—	—

建設機械受注実績

（単位：億円）

年 月	'97年	'98年	'99年	'00年	'01年	'02年	'02年 8月	9月	10月	11月	12月	'03年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
総 額	12,862	10,327	9,471	9,748	8,983	8,667	702	820	696	741	770	765	789	922	729	780	797	865	880
海外需要	3,931	4,171	3,486	3,586	3,574	4,301	336	346	327	381	443	453	466	475	448	495	472	513	509
海外需要を除く	8,406	6,156	5,985	6,162	5,409	4,365	366	474	369	360	327	312	323	447	281	285	325	352	371

（注）1997年～1999年は年平均で、2000年～2002年は四半期ごとの平均値で図示した。

出典：国土交通省建設工事受注動態統計調査
 内閣府経済社会総合研究所機械受注統計調査